

感動詞と「と」の共起に関する一考察 —CSJ 自由対話を資料として—

梅木俊輔

東北大学大学院文学研究科博士後期課程 2 年

umeki0824@hotmail.com

1. 問題の所在と先行研究

会話にみられる感動詞には、「あつと」、「うーんと」、「えーと」、「えいっと」、「おつとつと」、「せーのつと」、「よつと」などのように話者が当該状況に直面した時点で、「と」をつけて発話できるものと、「ふーん」、「へー」、「はっ」、「ぎょつ」、「えー」（不満を示す）、「あら」、のように当該の時点で「と」をつけて発話できないものがある（ただし、あつという間に、はっ（ぎょつ）とする、のような「と」についてはこの限りではない）。

感動詞に関する先行研究において、「と」の有無に関し言及がみられるのは管見の限り富樫（2005）のみである。「えーと」と「えー」について富樫（2005）は、基本的にはほぼ同一の機能を有しているとする一方、「微妙な判断ではあるが、「と」が付いたほうが、検索処理後の確定というニュアンスが強いように思われる」（富樫, 2005, p. 91.）と述べている。

確かに、富樫（2005）による説明は前述の感動詞のうち、「えーと」と共通点が見いだせる「うーんと」にも当てはまると思われるが、その他、「と」がつきうる感動詞について上記と同様に説明することは困難であろう。また「と」がつかない感動詞に対し、つかない理由を考えることも難しい。

そこで本発表では感動詞において「と」をつけられるか否かの間にある違いについて検討することを目的とする。

2. データ

話し言葉コーパス（CSJ）の 2 人 1 組による自由対話 16 組分（3.6 時間）から抽出した発話をデータとした。転記テキストのタグ付けでは、フィラー、感情表出系感動詞、応答表現が一律「F」となっている¹。表 1 に F がタグ付けされた全ての発話と出現数を示す。抽出・分類・カウントにあたっては、フリーソフトのテキストエディタ（サクラエディタ）により、タグ F について GREP 検索で抽出した発話全てについて、発表者一人が抽出元を参考に分類・カウントしている。また今回の分析では感動詞の内訳にある挨拶表現と呼び掛け・掛け声について処理中であることから除外していることを断っておく。

表1 CSJ からタグ F により抽出された全ての発話

感動詞の内訳	出現形・数
フィラー（場繋ぎ的な表現）	あーとね 1, あーの 14, あーのー30, あの 164, あのー238, あのね 3, あのねー4, うー34, うーん 132, うんと 1, うーんと 6, うーんとー2, うーんとね 1, えー124, えーと 11, えーとね 2, えーとー20, えーとねー3, えーつと 5, えと 2, えーつとー4, えーつとですねー1, えーつとね 2, えーつとねー1, えつと 4, その 111, そのー47, と 1, ま 121, まー149, んー48, んーつとー1, んーと 5, んーとー1
感情表出系感動詞	あ 216, あー494, あーら 1, あっ 8, あつら 1, あらー1, あららら 1, あれ 3, い 6, いー7, う 33, うっ 1, うわ 1, うわー11, えー27, お 9, おー7, ひゃー1, ふー1, ふーん 180, へ 5, へー122, ほえー2, わ 1, わー4,
応答表現	いいえ 1, いえ 22, いや 97, いやねー1, ううん 2, うーん 1120, うん 1252, え 73, ええ 362, は 2, はー67, はい 345, ん 144, まーね 1, まーねー1,
挨拶表現*	こんにちは, ただいま, お疲れ様,
呼び掛け・掛け声*	おお, おい, ね, よう, さあ, それ, よし
計	異なり 74・延べ 5926

*処理中、分析から除外。

3. 分析と考察

3.1 「と」がつけられる例

(1)

0013 R:(F うーん)そうですね (F えーと)二日ぐらいですかね

0014 L:(D ふつ)

0015 R:(F あ)二日丸々やってたんじゃなくて

←あつと○

0016 L:(F ええ)

(2)

0147 R: (アクセントについて、発表者加筆) (F ん)(M ま)で言うと (M ままま)とか (M ままま)とか (M ままま)とか色々ありますけども

0148 L: (F うん)(F うん)(F うん)

0149 R:宮崎の場合はもう (D ひたす)(F あつ)

←あつと○

0150 R:宮崎の (F まー)私の

0151 R: (D い)方言(D2 の)

0152 L: (F ええ)

(3)

0748 R:結構ね格好いいんですよ

0749 L: (F お)本当ですか

←おっと○

0750 R: (F うん)(F あの)柳葉敏郎に

0751 L:似てるの

0752 R:似てますよ

0753 L: (F まー)

0754 R:今彼女募集中です

0755 L: (F えー)あたしじゃ今彼氏募集中で

0756 R: (F お)(F まー)ちょうどいいじゃないですか

←おっと○

(1) ~ (3) の感動詞は話者が当該状況に直面した時点で、「と」をつけて発話できると思われる。ここから「と」がフィラーに特有の要素ではないことが分かる。

3.2 「と」がつけられない例

(4)

0179 R:日の目を見ない研究

0180 L:(F うん)

0181 L:何かもう個人的にやってるんだけどお金も出ないし趣味みたくなっちゃってるけど

0182 R:(F あー)(F あー)(F あー)

←あーっと×

(5)

0115 R:その人が金を取ってきて

0116 L: (F うん)(F うん)

0117 R: (F えー)若い人をこき使って

0118 R:<息>

0119 L: (F はー)(F はー)

←はーっと×

(4) (5) のように「と」は基本的には応答表現につかない(ただし「はいはいっと」等、定型表現として「と」がつけられる場合については後述する)。また例は省略するが、「うーんと」等と発話機能的にはフィラーとして共通する「あー」や「そー」といった表現にもつかない。では、なぜ感動詞に「と」がつけられるか否かという違いが存在するのだろうか。

この点については、話者による露呈と伝達という違いからの制約を受けると考えることで上手く説明することができる。つまり「と」がついていない裸の感動詞はいわば露呈であり、「と」がつくことで露呈から伝達へと変化する。感動詞の多くは「と」がつけられないのは、露呈という非意図的なものが意図的な伝達へと変わる点でそぐわないことによる。ただ(4)(5)の場合

は事情が異なり、(4) (5) のような応答表現は伝達が本来的であるため、伝達化できない。それはフィラーとしての「あー」と「そー」に「と」がつけられないことと同様、わざわざ「と」をつけて伝達にする必要はないためであると考えられる。

3.3 「と」がつけられる場合での有無の違い—「うーん」と「うーんと」

「うーん」「えー」は独り言で言えることから伝達ではない。伝達ではない「うーん」がフィラーの役割を果たすのは結果であって本来的にフィラーとしての機能をもつわけではない。

では、独り言で「うーんと」と言う場合は伝達であろうか。結論的には伝達ではなく、定型表現の使用であると考えられる。つまり感動詞において「と」をつけて独り言で利用できるものは伝達としての表現形（「と」がついた形）が一般に認知され定型化したものに限られる。このように定型化しており、独り言でも利用できる感動詞には「おととと」「よいしょと」等がある。定型化しておらず「と」をつけて独り言で言える感動詞は管見の限り見当たらない。定型表現の使用としては上記の他、「いい湯だなと」「めでたしめでたしと」等や定延(2005)であげられている「やーめたと」「かーえろと」等のラーソラというメロディをつけて言う類があるが、いずれも「と」をつけて独り言で言うことができる。

4. まとめ

- ・「と」がついていない裸の感動詞は露呈であり、「と」がつくことで露呈から伝達へ変化する。
- ・「うーん」「えー」は伝達ではない。伝達ではない「うーん」がフィラーの役割を果たすのは結果であって、本来的にフィラーとしての機能をもつわけではない。

注

- 1) 「両者に対して同じタグを付与するのは、実際の作業において、フィラーか感情表出系感動詞かの区別が付かないケースが少なくないためである。」（小磯・西川・間淵, 2006, p.82.）

参考文献

- 小磯花絵・西川賢哉・間淵洋子（2006）「第2章 転記テキスト」（研究代表者）前川喜久雄（報告書）『日本語話し言葉コーパスの構築法』, 国立国語研究所, pp.23-132.
- 前川喜久雄（2004）『日本語話し言葉コーパスの概要 Version 1.1』『日本語話し言葉コーパス Volume 1』（CDROM）, （CDROM内）「over view」より, 国立国語研究所
- 定延利之（2005）「日本語のイントネーションとアクセントの関係の多様性」『日本語科学』17, pp.5-25.
- 富樫純一（2005）「肯定・検索・問い直し—感動詞「ええ」の統一的記述を求めて—」『文藝言語研究 言語篇』48, pp. 77-93.